

令和4年度（2022年度）生徒指導研究協議会

令和4年（2022年）9月21日（水）、児童生徒の豊かな成長、発達を促すため、生徒指導上の諸課題に関する研究協議を行い、学校、家庭及び地域社会が連携協力して生徒指導の充実を図るとともに、教員の指導力の向上を図ることを目的として、「生徒指導研究協議会」がオンラインで行われました。管内の教育委員会及び各学校から80名が参加し、先生方による研究協議や、北海道教育大学札幌校平野直己教授の講演を聴き、各校におけるいじめ問題への適切な対応について、理解を深める大変貴重な機会となりました。

日時：令和4年9月21日（水）

時程：10：20～ 開会

10：30～ 校種別部会

11：00～ 講演

「いじめの認知・組織的対応とその後」

北海道教育大学札幌校 平野直己 教授

13：20～ 宗谷教育局からの説明①

（いじめ問題等について）

14：10～ 宗谷教育局からの説明②

（不登校対応等について）

15：20～ 協議会のまとめ・閉会



●校種別部会（小・中・高・特）

校種別に5人程度のグループに分かれ、各学校における生徒指導上の諸問題への対応状況について情報共有を行いました。協議では「初期対応」や「組織的対応」が重要であるとの意見が多く出されました。

●講演「いじめの認知・組織的対応とその後」平野教授

いじめ防止対策推進法の「いじめの定義」について全体で再確認し、いじめの積極的な認知とその対応及び重大事態への対応に関する留意点等についてお話いただきました。

「複数の児童生徒が学校で生活を共にすれば、人間関係の中で『嫌な思い』をする児童生徒は毎日現れるという認識が大切である。児童生徒間のやりとりの内容を複数の先生方の目と手で確認し、適切な人間関係の構築に向けた指導を行ってほしい」というお話をいただきました。

●宗谷教育局からの説明①

宗谷管内におけるいじめの認知件数等や児童生徒がいじめのアンケート等で「嫌な思いをした」と回答したケースについては、引き続きその状況の正確な把握と適切な対応が求められることについて説明しました。

教育局から

いじめ問題では、状況を正確に把握し、いじめの認知に向けて学校が組織的に対応することが、問題解決のスタートラインに立つことにつながります。教育局と各学校が連携し、児童生徒に寄り添いながら適切なタイミングで組織的に対応することができるように、引き続き御協力をお願いします。

（高校班 加藤洋平）

●宗谷教育局からの説明②

今日的な生徒指導上の諸問題に関する通知や資料について説明しました。また、校種別グループに分かれ、不登校児童生徒への対応に関する各学校の状況について情報共有等を行いました。得られた情報を、自校での適切な対応の推進に活用することの重要性について説明しました。

